

東アジア海法フォーラム

2008



2008年
9/27_{sat}・9/28_{sun}

13:00～18:00(両日とも)

会 場

早稲田大学国際会議場
井深記念ホール

入場無料・日英同時通訳つき

27日

13:00 ● 開会セレモニー
13:30 ● 記念講演
14:30 ● 3国海商法の現状と
将来展望
18:00 ● 終了予定

28日

13:00 ● シンポジウム1
「油濁および船骸撤去」
15:30 ● シンポジウム2
「海事裁判手続き」
17:45 ● 総括
18:00 ● 終了予定

申込み先

海法研究所(早稲田大学総合研究機構)

E-mail:iml-office@list.waseda.jp FAX:03-3208-8690

※準備の都合上、できるかぎり事前の申込みをお願い致します。

※お申し込み方法は裏面をご覧ください。

URL <http://www.waseda.jp/prj-iml/>

写真提供:柴田康彦氏

東アジア海法フォーラム2008

開催概要

日中韓(日韓中)3国を中心とした東アジア経済圏は、ますますその重要性を増してきています。この東アジア経済圏における海事に関する国際的法規範の協調的な解釈・運用を目指して、また、その前提としての相互理解を図るために、研究者と実務家による交流を実現しようと企画したのがこのフォーラムです。

早稲田大学比較法研究所創立50周年のこの機会に、産学協働の精神を掲げる海法研究所が共催するこのフォーラムが、研究者と実務家の垣根を取り除き、海法に関心をもつすべての方々に開かれた国際交流の祭典となれば幸いです。一般・学生のみならず参加も大歓迎いたします。

お申込方法

EメールまたはFAXにて次の内容をお知らせ下さい。

- お名前(複数の場合は代表者)
- ご所属
- Eメールのアドレス
- 参加日 27日(名) 28日(名)

参加お申込先 Eメールアドレス

iml-office @ list.waseda.jp

※FAXでお申込頂く場合は、03-3208-8690までお送り下さい。

会場へのアクセス



東京都新宿区西早稲田1-6-1
東京メトロ早稲田駅3Aまたは3B出口から徒歩10分
JR高田馬場駅より早大正門行きバス(西早稲田下車)
またはタクシーの利用が便利です。

1日目 13:00～

挨拶 法学学術院長・法学部長 上村達男(早稲田大学教授)
比較法研究所長 早川弘道(早稲田大学教授)
海法研究所長 椿 弘次(早稲田大学教授)

趣旨説明 箱井崇史(早稲田大学教授)

記念講演1 「海法の発展における地域的な協力と調和」

蔡 利植

(高麗大学教授・IMO法律委員会委員長、韓国海法学会前会長)



記念講演2 「総合海法の研究システム確立と『東アジア海法研究フォーラム』創設の提案」

司 玉琢

(大連海事大学教授・元学長、中国海事仲裁委员会副主席)



講演 「3国海商法の現状と将来展望」

「新『国連海上運送条約』時代における中国海商法の展望」

莫 世健(政法大学教授・国際法学院院長)

「2007年韓国商法海商編の改正」

金 仁顯(釜山大学准教授)

「日本における海商法立法の課題と展望」

落合誠一(中央大学法科大学院教授・東京大学名誉教授)

コメント 江頭憲治郎(早稲田大学教授)

質疑応答・討論 司会 相原 隆(関西学院大学教授)

2日目 13:00～

シンポジウム 「油濁および船骸撤去に関する諸問題」

第1部 司会 森 莊太郎(弁護士)

報告 金 仁顯(釜山大学准教授)

単 紅軍(大連海事大学教授)

岡部博記(弁護士)

討論

シンポジウム 「海事裁判手続きの諸問題」

第2部 司会 木村 宏(弁護士・早稲田大学大学院法科大学院非常勤講師)

報告 韓 立新(大連海事大学教授)

鄭 炳碩(弁護士)

平田大器(弁護士)

討論

総括コメント 中村真澄(早稲田大学名誉教授)